



せいぶつたようせい  
生物多様性センター企画展

きかくてん

せいぶつたようせい

# 「身边でみつける生物多様性」

かんのうすいけん

せいぶつたようせい

おおさか環農水研生物多様性センターでは、

しきちない

い

く

敷地内でさまざまな生きものが暮らせるように

いけ

くさち

池や草地などの

い

く

ばしょ

つく

生きものが暮らせる場所（ビオトープ）を作っています。

これまでに皆さんとのイベントや調査で、

ふない へいち み しゅ いじょう みな ちょうさ  
府内の平地で見られる300種以上の

い み 生きものが見つかっています。

ほん きかくてん  
本企画展では、

これまでに当センターで見つかった生きものと、

い み どうし  
それらの生きものの同士のつながり、

とりく  
さらにこれまでに取組んできた

ふない ちょうさ しょうかい  
府内での調査やイベントについて紹介します。



# せいぶつちょうさ センターでの生物調査

- センターにはどのような生き物がいるのでしょうか。
- センター内の魚、植物、昆虫などの種類を調べるために、イベントや講習会を通じて府民のみなさんと一緒に生物調査を行ったり、職員独自でも調査を行っています。

## ふれあいイベントでの調査

- 子供たちに生きものとふれあい学んでいただくため、「生きものふれあいイベント」を開催しています。
- 草むらの生物調査の他、地引網等による魚類の調査を行っています。



草むらでの生きものさがし



じびきあみちょうさ  
地引網調査

## サポスタッフ講習会での調査

- サポートスタッフとは、センターのイベント等に協力いただける市民ボランティアのことです。
- サポートスタッフのスキルアップも兼ねて、講習会で生物調査を行っています。



にまいがいちょうさ  
二枚貝調査



しょくせいいちょうさ  
植生調査

## 職員による生物調査

- 各季節で定期的に生物調査を行っています。
- 夜行性の哺乳類については自動撮影カメラを用いて調査を行っています。
- 国の天然記念物であるイタセンパラは、定期的に個体数推定も行っています。
- 場内の管理作業や昼休みなども目を配り、新たな生きものを見つけたら記録し、職員内で情報を共有しています。



こんちゅうちょうさ  
昆虫調査



すいせいしょくぶつ ちょうさ  
水生植物調査



じどうさつえい  
自動撮影カメラによる調査



しょくぶつちょうさ  
植物調査



# 生きものマップ

- センターでは、生きものが暮らせるように池や草むらなどのビオトープを作っています。
- 水辺や草むらなどの場所、夏や冬などの季節の違いによってそれぞれ異なる生きものを観察することができます。



トノサマバッタ



草むら



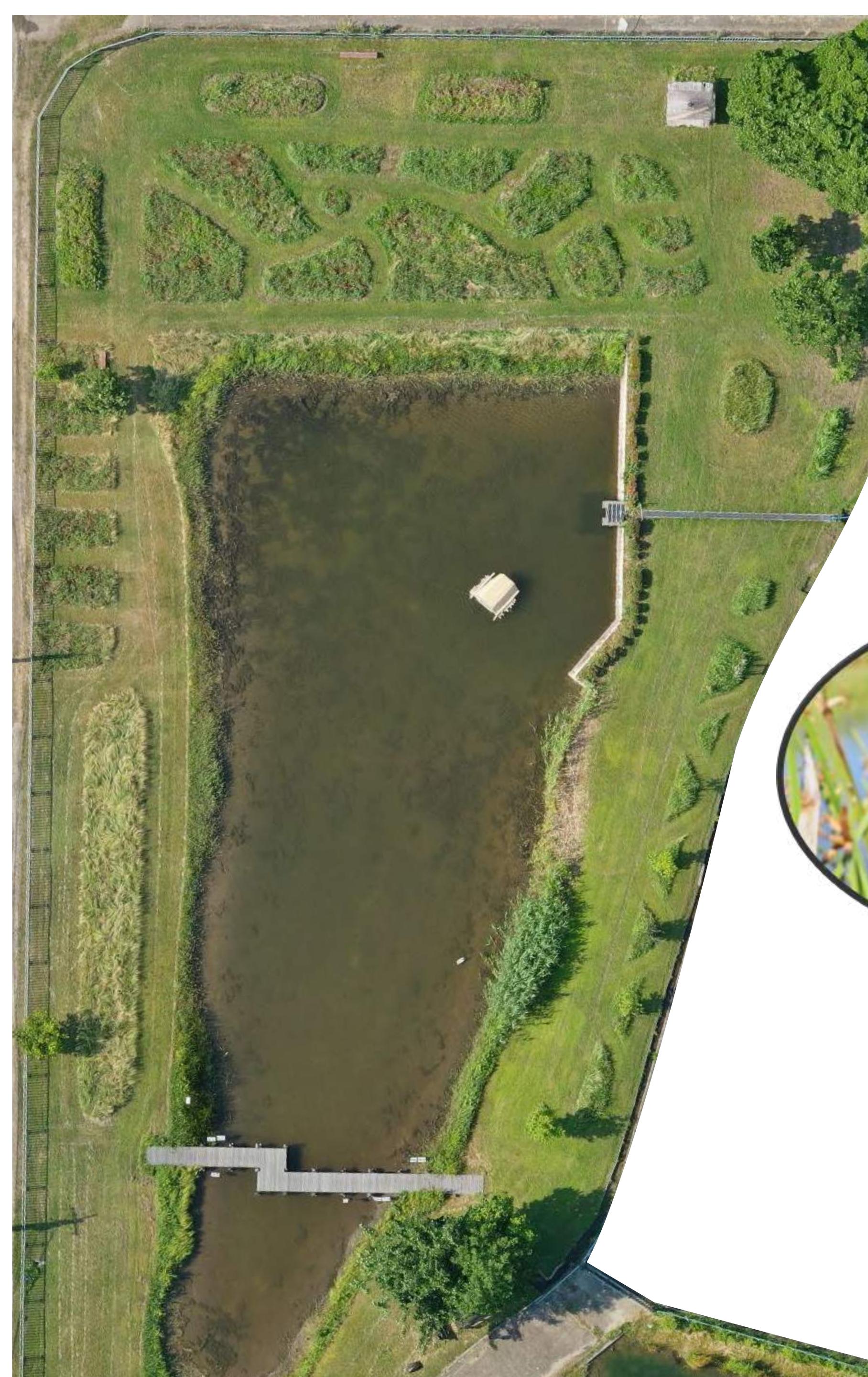
カマキリ



コムラサキ



カワセミ



ビオトープ池



イタセンパラ



現在地 (本館)



樹林



ゴマダラチョウ



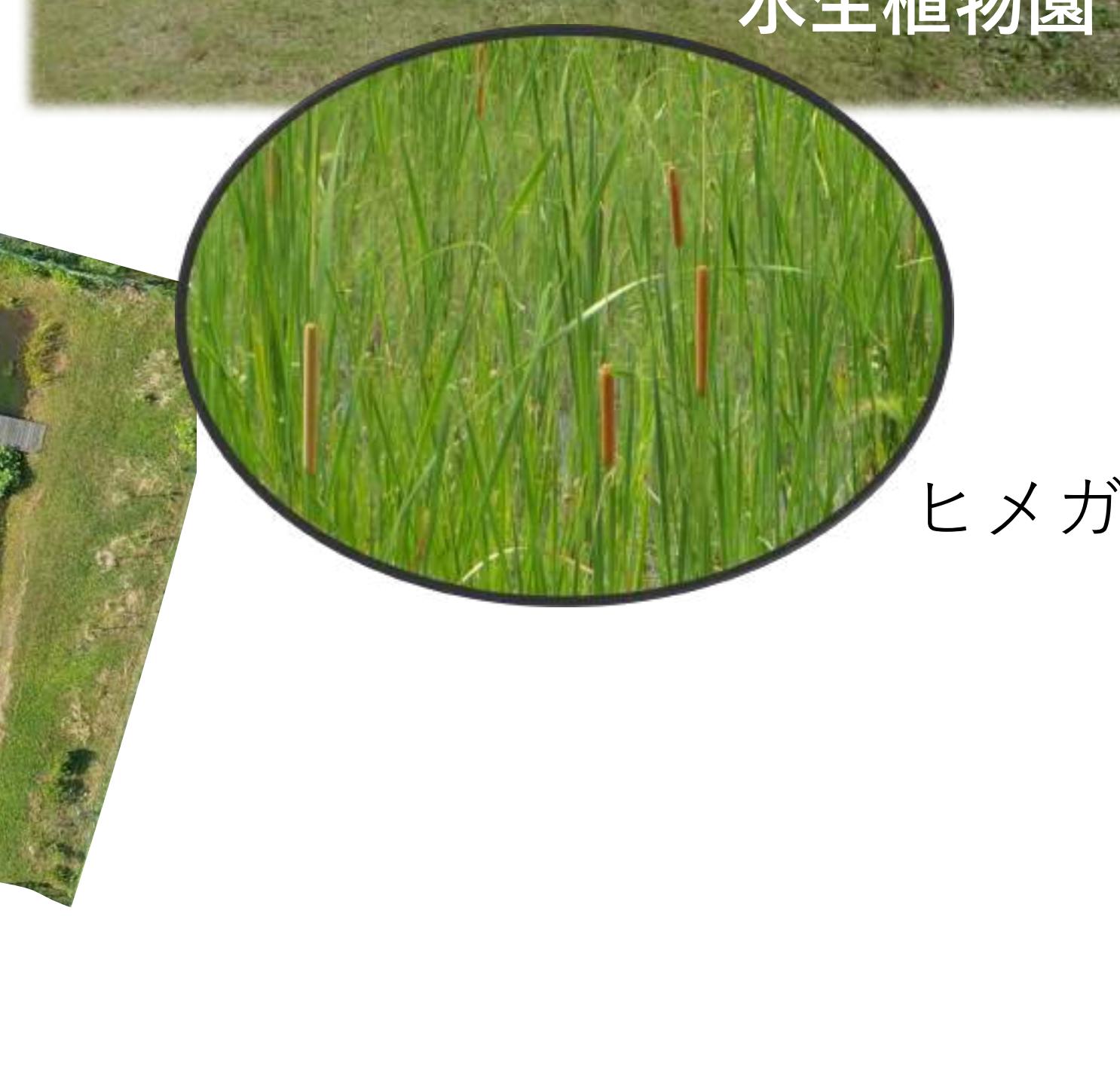
コノシメトンボ



水生植物園



ヒメガマ





# センターでみつかる生きもの 水の生きもの

- センターの池は、昔の淀川の河川敷にたくさんあった「たまり」と呼ぶ池を再現しています。
- 空を飛んだり歩くことのできない魚や二枚貝は、そばを流れる淀川から保全のため保護したもののなどが自然繁殖しています。

## イタセンパラ



- 二枚貝に卵を産むタナゴの仲間で、国の天然記念物です。
- センターのイタセンパラは、50年以上前に淀川から持ち込んだ子孫です。

## シマヒレヨシノボリ



- 淀川の流れのあまり無いワンドや、ため池に住むヨシノボリの仲間です。
- 水路を伝って自ら入って来た可能性もあります。

## イシガイ



- イタセンパラが卵をうむ二枚貝です。
- グロキディウムと呼ばれる幼生の時期に、一時的にヨシノボリなどの魚にくっついて栄養をもらいます。

## ミナミメダカ



- 淀川のたまりや、田んぼ、水路などにたくさん生息していました。
- よく似たカダヤシという外来種に負けなどしてとても数が減り、絶滅危惧種になってしまいました。



# センターでみつかる生きもの 植物

- センターでは、これまで104種が確認されています。
- 水の中に生える水生植物や草むら、高木、低木とさまざまな植物が生えています。
- いろんな動物の住み場所になったり、餌になったりしています。

## 水生植物のなかま



- 水の中の栄養分を吸収して、植物体に取り込むことで、水をきれいします。
- トンボが止まったり、魚が卵を産み付けるのに利用します

## 草のなかま



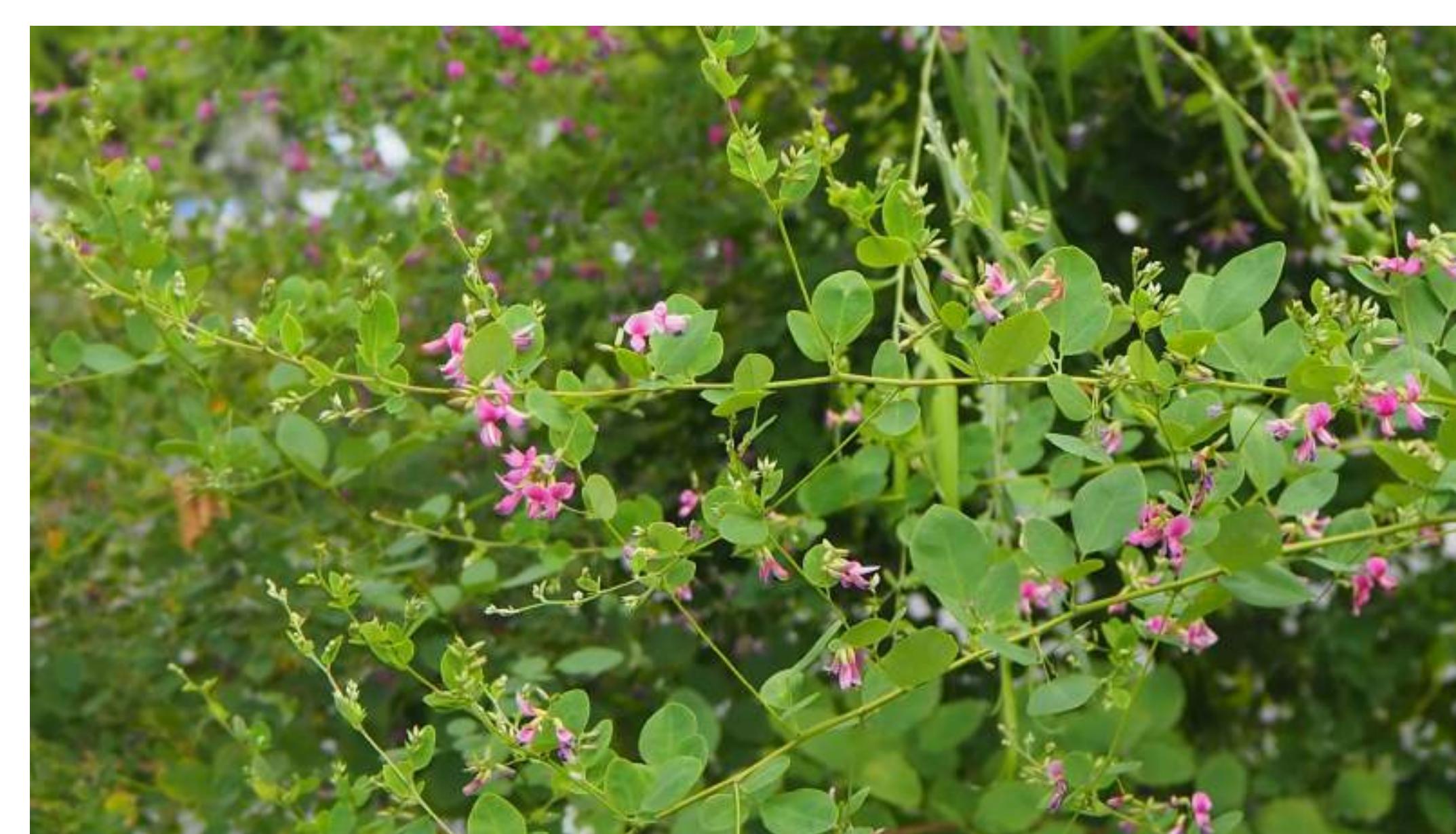
- バッタの仲間が葉っぱを食べたり、スズメなどの鳥が種を食べたりします。
- 草刈りの頻度や場所を変えることでいろんな種類の草が生えています。

## 高木のなかま



- 写真はエノキという植物で、ゴマダラチョウの幼虫が葉を食べます。
- 大きいため、鳥たちが「とまり木」として利用したり、巣を作ったりするのにも利用します。

## 低木のなかま



- 写真は秋の七草のひとつでヤマハギという植物です。
- 他にも、ツツジやアベリアなどきれいな花を植えており、チョウが花の蜜を吸いにやってきます。



# センターでみつかる生きもの 昆虫

- センターでは、これまでに89種の昆虫類が確認されています。
- センターにある池、草むら、樹林などの様々な環境や、そこに生息あるいは飛来する多様な生きものによって、昆虫の暮らし<sup>く</sup>が支えられています。

## トンボのなかま



- 幼虫（ヤゴ）は池や川などで暮らし、水中の生きものを食べて成長します。
- 陸上で羽化し、成虫は他の昆虫などを食べて成熟し、水辺で繁殖します。

## トノサマバッタ



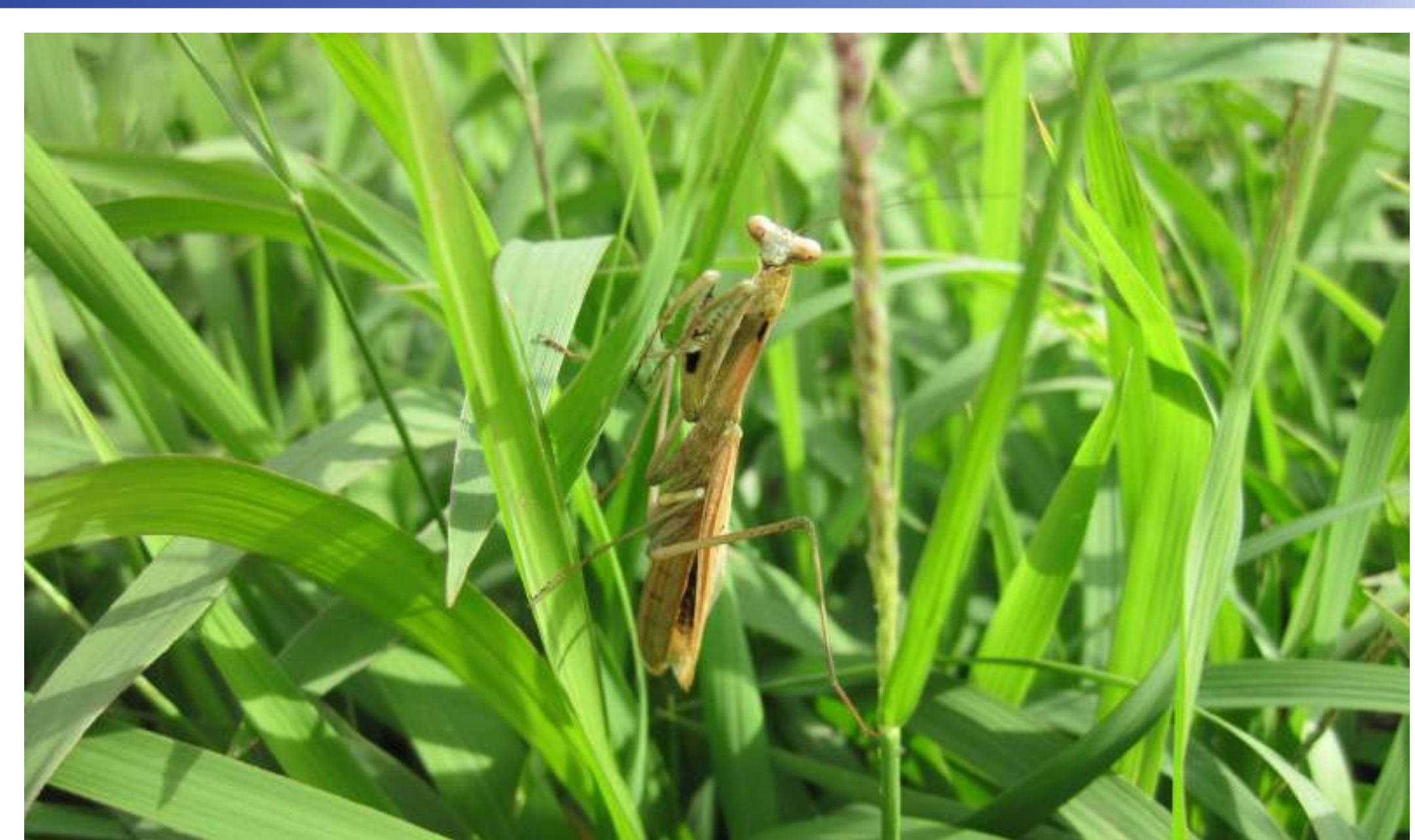
- イネ科の植物を食べて成長します。
- 幼虫時代に育った環境や個体密度によって、体の色が変わります。

## コムラサキ



- 幼虫はヤナギ類（植物）を食べます。
- 成虫は樹液に集まります。
- オスの翅の表面は鮮やかな紫色です。
- 近縁種のオオムラサキよりも小型です。

## カマキリのなかま



- トンボ、バッタ、チョウなど様々な昆虫や小動物を捕食する肉食性昆虫です。
- 同じ種類でも、体の大きなメスが小さなオスを共食いすることがあります。



# センターでみつかる生きもの 鳥

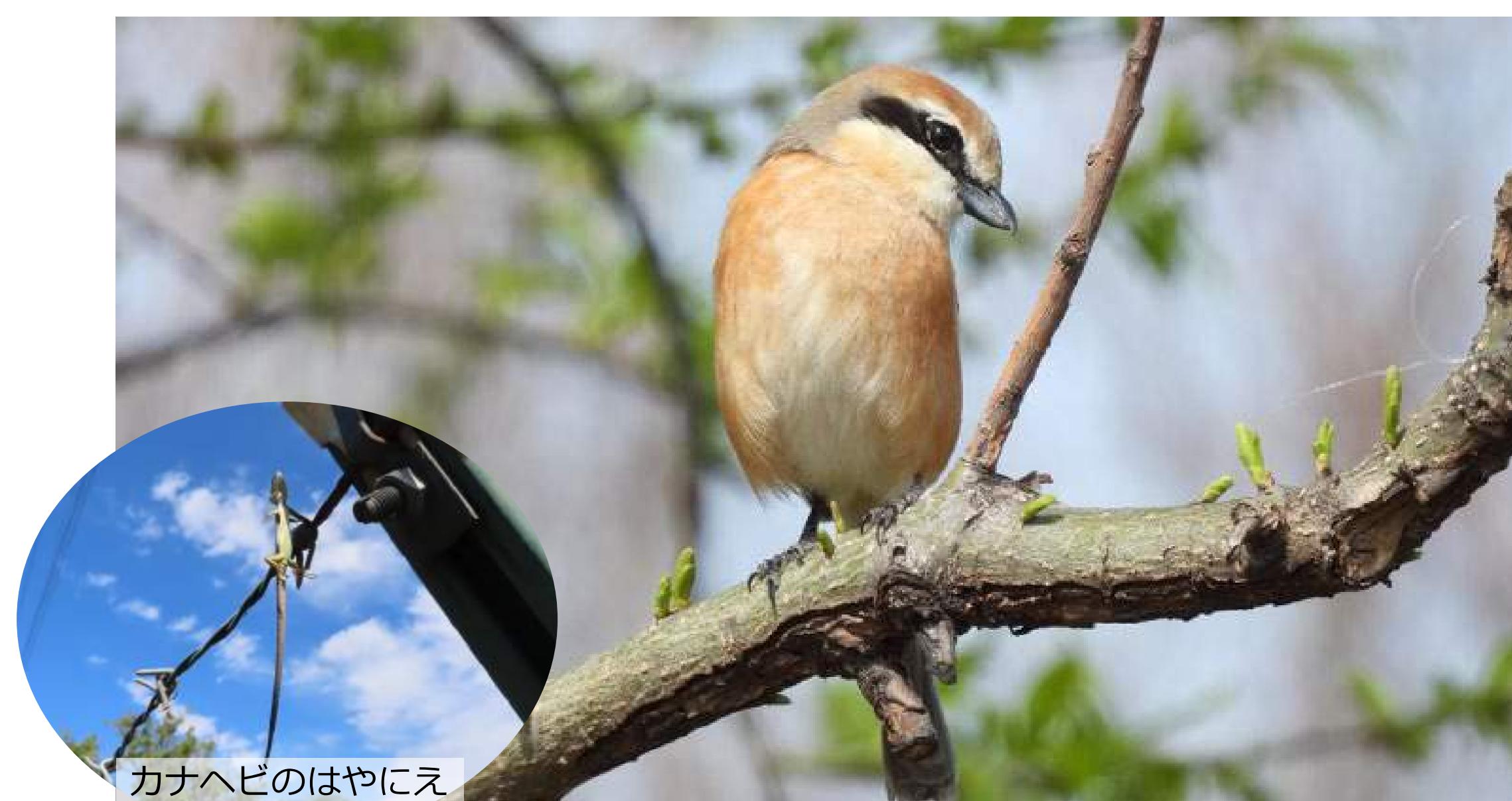
- センターでは、これまでに56種が確認されています。
- センターの敷地内に住み着いているものもいれば、時々立ち寄るものや毎年決まった季節にやってくるものもいます。
- 一期一会の出会いを楽しんでみてください。

## カワセミ



- 水中に飛び込んで魚などを捕れます。
- 口ばしから頭にかけての曲線が水の抵抗を受けにくい形になっていて、新幹線N500系のモデルにもなりました。

## モズ



- 大阪府の鳥です。
- 昆虫や小動物をエサにしており、それらを枝などに突き刺す“はやにえ”をすることが知られています。センター内でも見られるかも！？

## ハクセキレイ



- 草むらをちょこちょこ歩いています。
- よく似た種に黒っぽい「セグロセキレイ」が居ますが、センターでみられるのは「ハクセキレイ」ばかりです。

## カモのなかま



↑コガモ



- これまでに8種が確認されています。多くの種は渡り鳥で、冬になるとセンターにやってきます。
- ほとんどの種でメスよりもオスの方が色彩豊かなのが特徴です。



# センターでみつかる生きもの 哺乳類

- センターでは、これまでに10種が確認されています。
- 利用場所の一部として時々センターにもやってくるようです。
- 直接見ることはなかなか難しいですが、センサーカメラを設置すると、センター内をよく使っている様子がわかります。

## キツネ



- 長くてふさふさのしっぽが特徴です。
- 北海道～九州に広く分布しています。
- 大阪では数が減っていて、絶滅危惧種に指定されています。

## タヌキ



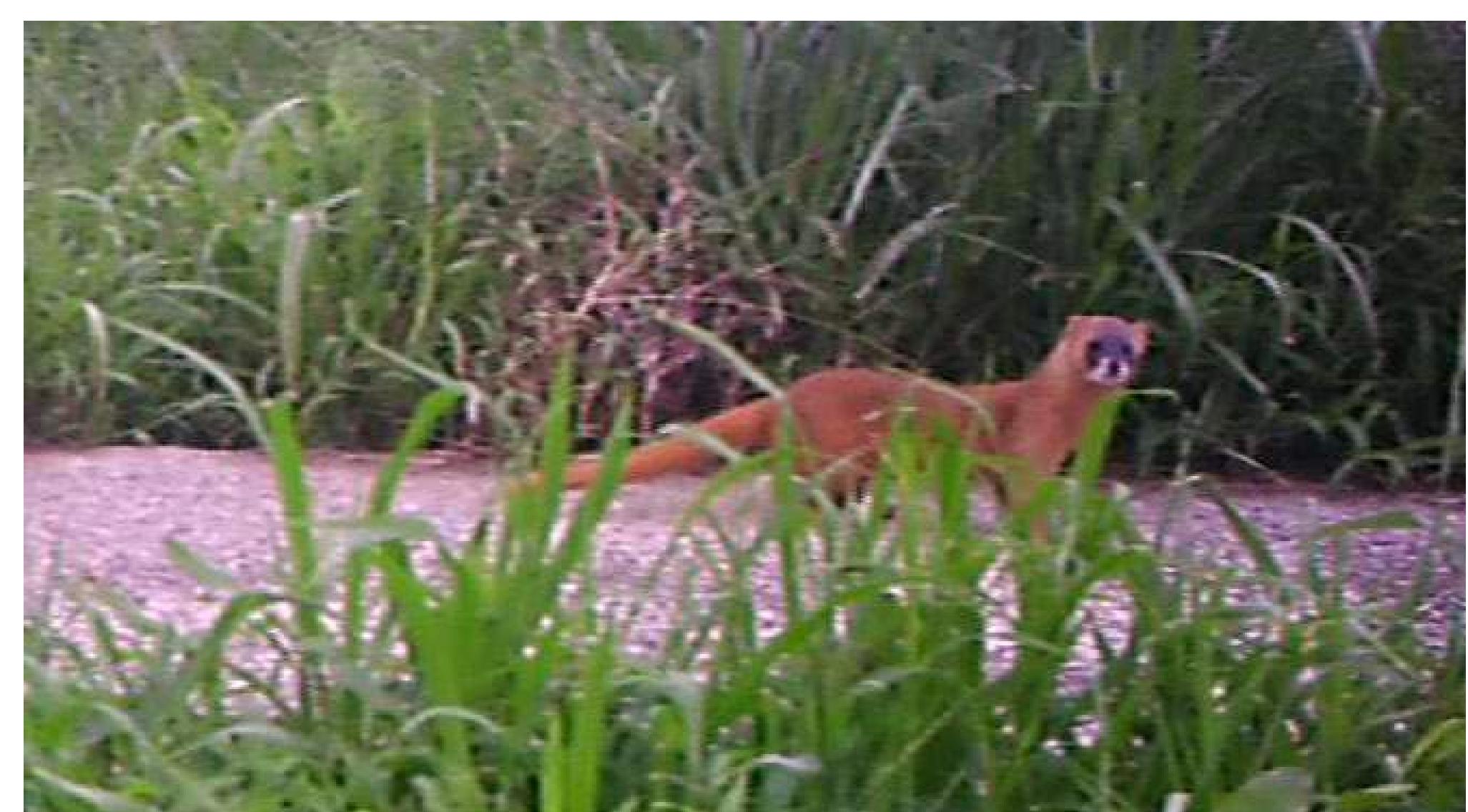
- 耳のふち、肩や足が黒いのが特徴です。
- 北海道～九州に広く分布しています。
- 大阪でも各地に分布し、身近な哺乳類の一つとなっています。

## アライグマ



- 北アメリカから来た外来生物です。
- しましまのしっぽが特徴です。
- どこでも住めて、農作物や小さな生きものなど何でも食べてしまうので、色々な被害が問題になっています。

## イタチのなかま



- 小さくて、すばやい動きが特徴です。
- もともと日本にいた二ホンイタチと、韓国などから来たシベリアイタチがいます。映像で見分けるのは難しいですが、シベリアイタチが多いようです。



# かんきょうせいび とりくみ 環境整備の取組

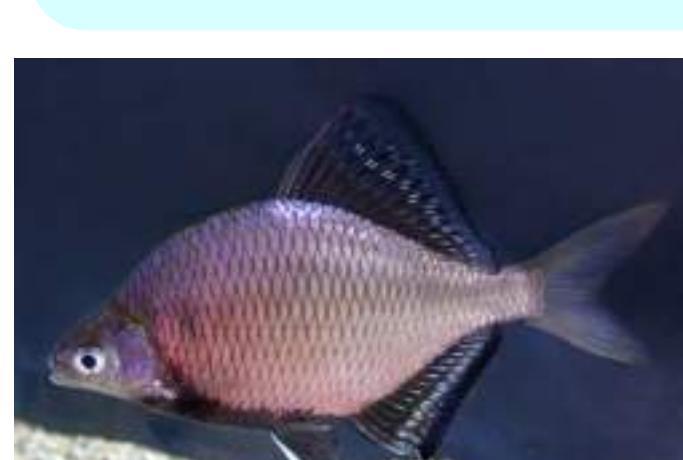
- センターでは、多様な生きものが住めるように、さまざまな取り組みを行っています。
- 生きものが住みやすい場所を作ると、多くの生きものがやって来ます。多様な生きもののために、多様な環境を作っています。

## 生きものが好む環境を作る

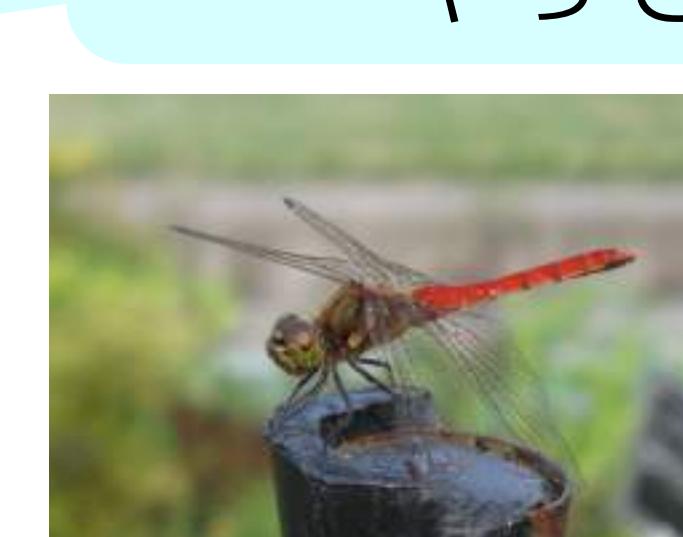
- 今は少なくなった環境を復活させています



昔は淀川の河川敷に多くあった「たまり」を再現しています。



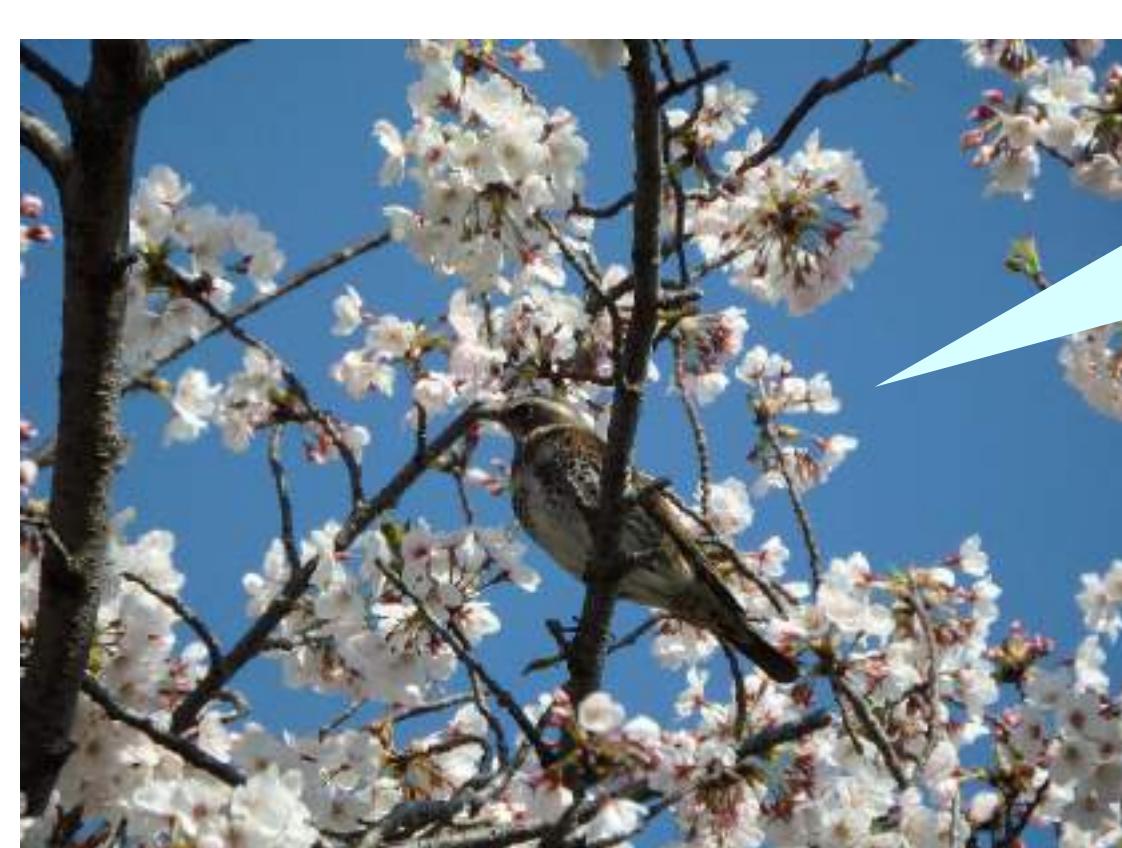
農薬を使わない田んぼを作ると、多くの生き物や植物がやって来ます。



アキアカネ オモダカ

## 様々な植物を育成する

- 背の高い木や花の咲く植物、チョウの幼虫の餌となる植物など育てています。



背の高い木は鳥たちが休んだり巣をつくるのにぴったり！

チョウやハチが花の蜜を吸いに来ます。



ナミアゲハの幼虫は、ミカン科の植物が大好き！



## 外来生物を取り除く

- 在来生物を食べる外来生物を減らします



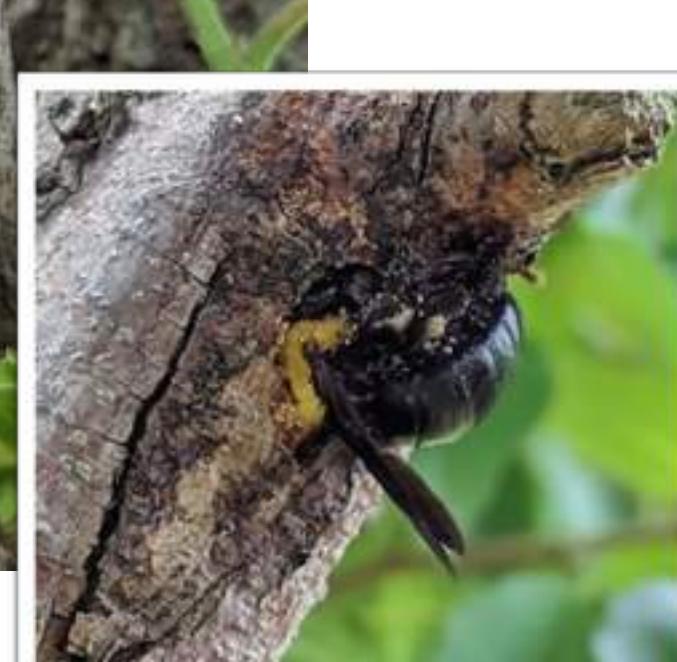
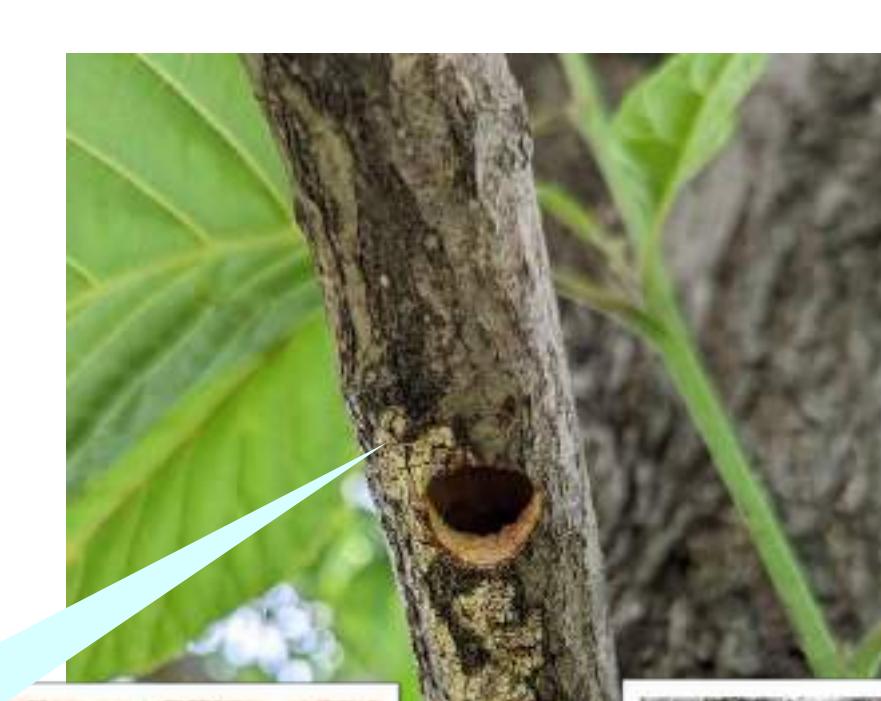
卵  
大人はトンボやカエルなど、口に入れれば何でも食べます。



強いハサミで水生昆虫や小さな貝などを食べ、水草を切れます。

## 生きものに優しい草刈・枝切

- 生きものが暮らしやすいように、草刈の頻度や枝を切る位置を工夫しています。



切る時は、枯枝をすべて撤去しないように注意しています。



# しみんちょうさ とりくみ 市民調査イベントの取組

- センターを飛び出して、大阪府内の色々な場所で、施設の方や府民のみなさんと一緒に生物調査に取組んでいます。
- 時にはセンターでは出会えない生きものに出会うこともあります。様々な場所で生きものとの出会いを楽しんでください。

## 生物調査！

- まずは、色々な方法を使ってどんな生きものがいるのかを調べます。
  - 網を使って昆虫を探したり・・
  - デジタルカメラやスマートフォン、タブレット端末で撮影したり・・
  - 哺乳類を調べるための自動撮影カメラを仕掛けたり・・



2023年10月14日  
「大阪城の殿様と曲者大搜索！ 秋の昆虫みつけ隊」大阪城公園



↑  
2023年7月22日  
「それいけ！クビアカバ  
スターズ」  
花博記念公園鶴見緑地

2022年4月28日  
「大阪城のサクラを守れ！」  
大阪城公園 ↓



キツネが  
映った！

2023年4月22日  
「第2回 それいけ！  
生きものしらべ隊！In  
万博記念公園」

## 結果のまとめ

- 調査の結果、どんな生きものが確認できたのかをみんなで共有してまとめます。
- 何回も調査を続けることで、その場所の生きものの種類などをることができます。

確認できた生きものの説明

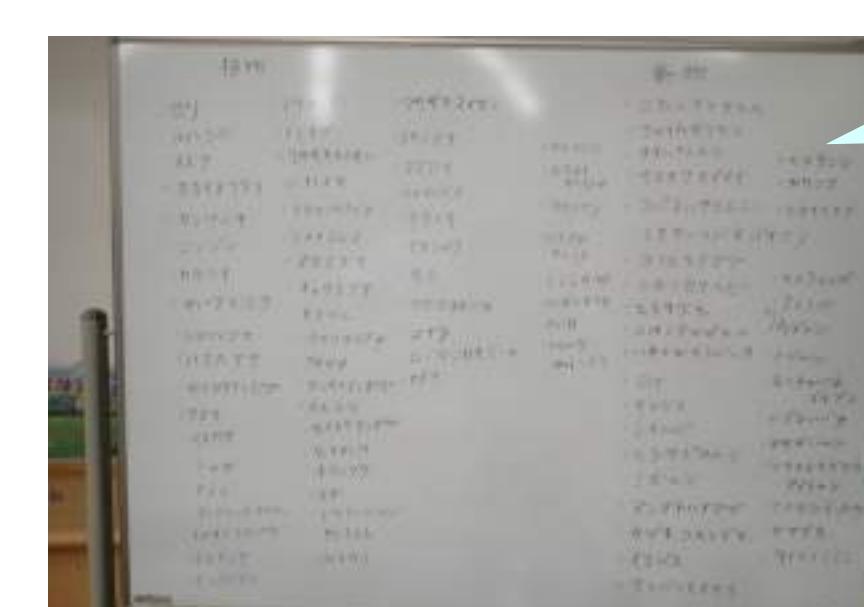


2023年10月14日  
「大阪城の殿様と曲者大搜索！ 秋の昆虫みつけ隊」大阪城公園

とうこう  
アプリに投稿



2023年4月22日  
「第2回 それいけ！生きものしらべ隊！In 万博記念公園」万博記念公園



生きものマップ  
の作成

ホワイトボードに書き出し



センターではみられない  
「二ホンアカガエル」

各イベントは、「おおさか生物多様性リンク」の取組で連携している企業・団体との共催・協力により開催しました。

【大阪城公園】大和ハウス株式会社環境部、大和リース株式会社大阪本店、大阪城パークマネジメント共同事業体

【鶴見緑地公園】鶴見緑地スマイルパートナーズ（代表企業）大和リース株式会社大阪本店

【万博記念公園】万博記念公園マネジメント・パートナーズ自然観察学習館moricara、株式会社バイオーム